

令和8年度

事業計画

令和8年

公益財団法人五島美術館

◆令和8年度 事業計画書

事業計画書

I. 公益目的事業 五島美術館

1. 展示事業

1-1. 展覧会名とその概要

	日数	有料	無料	計	入園者	合計
[館蔵] 春の優品展 名品を彩るアンティーク・テキスタイル 2026年4月7日[火]—5月10日[日]	30	8,296	809	9,105	195	9,300
[館蔵] 陶芸展 時代を超えた珠玉のやきもの 5月23日[土]—7月20日[月・祝]	51	12,269	1,197	13,465	289	13,754
[館蔵] 秋の優品展 唐草文の美 9月5日[土]—10月12日[月・祝]	33	4,857	474	5,331	114	5,445
[特別展] 室町ごろの風景—光り輝く四季と連歌懐紙の美— 10月27日[火]—12月6日[日]	36	10,704	1,044	11,748	252	12,000
[館蔵] 茶道具取合せ展 12月19日[土]—2027年2月7日[日]	33	5,799	566	6,364	137	6,501
[館蔵] 近代の日本画展 2月20日[土]—3月28日[日]	32	7,136	696	7,832	168	8,000
合計	215	49,060	4,785	53,845	1,155	55,000

(1) [館蔵] 春の優品展 名品を彩るアンティーク・テキスタイル

更紗作品の受贈を記念し、名物裂と更紗の手鑑を一堂に揃え、古筆や茶道具の名品とともに表具裂や仕覆、袱紗、包み裂、袋物などを展示。名品を彩った中国・インド・西欧などの舶来染織を中心に日本独自の鑑賞文化を紹介(会期中一部展示替あり)。

特別展示予定＝国宝「源氏物語絵巻 鈴虫一・鈴虫二・夕霧・御法」

4月29日[水・祝]—5月6日[水・振]

(2) [館蔵] 陶芸展 時代を超えた珠玉のやきもの

館蔵の陶磁コレクションから、日本・中国・朝鮮のやきもの約80点を選び展観。精緻で優美な中国の青磁、青花や五彩。茶の湯の美意識に適った朝鮮時代や桃山時代の茶陶など、五島美術館が誇る優品が一堂に会する。

(3) [館蔵] 秋の優品展 ^{からくさもん}唐草文の美

唐草文は、植物の茎や蔓^{つる}や葉などが絡み合った文様のひとつ。古来より繁栄・長寿を象徴する装飾文様として用いられ、ときに花や実などを組み合わせて多彩な変化を遂げた。五島美

術館の収蔵品から、中国の古鏡・陶磁器・染織、朝鮮半島の金工品、平安時代の古筆の料紙装飾など、さまざまなジャンルの作品に施された唐草文を紹介する(会期中一部展示替あり)。

特別展示予定＝国宝「紫式部日記絵巻 五島本第一・二・三段」

10月3日[土]—10月12日[月・祝]

(4)[特別展]室町ごろの風景 一光り輝く四季と連歌懐紙の美—

四季景物モチーフの宝庫とも言われる連歌懐紙の下絵に注目し、室町時代のやまと絵屏風、書跡、そして連歌にまつわる諸作品を通じて、「室町ごろ」の風景を展望。中世の人々が愛好した文藝のひとつである連歌を通して見えてくる室町文化と美術の一側面を紹介(会期中一部展示替あり)。

(5)[館蔵]茶道具取合せ展

展示室に当館茶室「古経楼」「松寿庵」「富士見亭」の床の間原寸模型をしつらえ、館蔵の茶道具コレクションから約70点を選び展示(会期中一部展示替あり)。桃山時代の茶人千利休(1522～91)とその弟子の古田織部(1543～1615)・細川三斎(忠興 1563～1645)らゆかりの茶道具などを展観する。特集展示として、高麗茶碗を中心とする朝鮮半島のやきものを同時公開。

(6)[館蔵]近代の日本画展

館蔵の近代日本画コレクションから、「人物表現」を中心に、横山大観、下村観山、川合玉堂、上村松園、鏑木清方、松岡映丘、安田靉彦、前田青邨など、明治から昭和にかけての近代日本を代表する画家の作品約40点を選び展観する。特集展示として館蔵の刀剣コレクションも同時公開。

2. 調査・研究・保存事業

(1)美術品の調査・研究

美術品の調査・研究を継続し、新規収蔵品等を中心に調査を進める。より正確なデータベースを構築するため、収蔵品の悉皆調査を行うとともに、デジタルアーカイブへの取組みを進める。

(2)美術品の補修

館蔵品のうちから、特に傷みの著しいもの、出陳頻度の高いものを優先し、修理を行う。

①「升色紙 伝 藤原行成筆」の修復

紙本墨書 升色紙 伝 藤原行成筆 1幅 (2年計画の初年度) 1,473千円

※ 修復費用については、公益財団法人三菱財団の文化財保存修復事業助成を申請中

②国宝「源氏物語絵巻」、国宝「紫式部日記絵巻」の修復を令和9年度からの開始に向けて国、都、区、国宝修理装演師と協議を行い準備を進める

(3) 美術品の保存

今後の保存対策のため、収蔵庫および展示室の環境測定を実施し、種々データを集める。また、収蔵庫内の収納棚の保存環境および利用時における安全性を見直し、より効率的な収納ができる保存環境を目指す。作品を保護するための^{つつみきれ}包み裂や箱、刀剣の鞘などを順次修理し、保存・管理の安全性を向上させる。

(4) 美術品の貸出

他所の美術館・博物館への館蔵品の貸出要望に対しては、趣旨・開催期間などを十分検討し、保存上の留意を行いつつ、社会教育の発展・普及の観点から貸出を許可し、出品する。

(5) 研究紀要の編纂

研究活動の成果を紀要としてまとめる。執筆者は学芸部を中心とし、資料紹介や調査報告を含めた専門性の高い論考に、美術館・文庫の活動報告を合わせた体裁とする。

3. 普及事業

(1) ギャラリートーク(展示解説)

一般入館者を対象として下記展覧会の展示品について学芸部が解説を行う。

	開催日
[館蔵] 春の優品展 名品を彩るアンティーク・テキスタイル	4/22 [水]、4/30 [木]、5/6 [水・振]
[館蔵] 陶芸展 時代を超えた珠玉のやきもの	5/27 [水]、6/24 [水]
[館蔵] 秋の優品展 唐草文の美	9/17 [木]、10/7 [水]、10/12 [月・祝]
[特別展] 室町ごろの風景 — 光り輝く四季と連歌懐紙の美 —	11/19 [木]、11/26 [木]
[館蔵] 茶道具取合せ展	1/13 [水]、1/28 [木]
[館蔵] 近代の日本画展	3/3 [水]

ほかに外部専門家を招いて特別講演も実施する。

(2) 美の友会月例美術講座

会員数 470 名。美の友会会員を対象に下記のシリーズを、連続講座(各月 1~3 回)として(本年度 27 回)開催する。各回ともシリーズのテーマに即した主題を掲げ、当館の収蔵品やスライド映写をまじえてわかりやすい講座を行う。

タイトル	開催日	テーマ
古典籍鑑賞シリーズIX	4/11 [土]	くずし字を読む
「古典籍で読んでみる、古典籍を読んでみる、」 担当 = 大東急記念文庫学芸部 木村孝太	6/13 [土]	本を読む
	7/11 [土]	内容を読む
考古鑑賞シリーズV	4/18 [土]	常滑 東のやきもの
「六古窯のやきもの」	6/20 [土]	備前 西のやきもの

担当 = 五島美術館学芸部 林 克彦	7/18 [土]	信楽 滋味のある焼締陶器
	9/19 [土]	瀬戸 中世の施釉陶器
書跡鑑賞シリーズ XIX 「藤原行成の書」 担当 = 五島美術館学芸部 佐々木佑記	4/25 [土]	藤原行成とその真跡
	5/23 [土]	世尊寺流一華麗なる書の系譜
	6/27 [土]	伝称筆者としての藤原行成
茶会記を読むシリーズ IX 「天王寺屋会記を読む一名物道具から名物裂まで」 担当 = 五島美術館学芸部 佐藤留実	5/2 [土]	天王寺屋宗達の拝見記一茶会記には何が記してあるのか
	6/6 [土]	天王寺屋宗及の名画拝見
	7/4 [土]	天王寺屋宗及と信長の茶会
考古鑑賞シリーズ VI 「考古学からみた日本やきもの史③」 担当 = 五島美術館学芸部 林 克彦	9/5 [土]	黄瀬戸・瀬戸黒 黄と黒の茶陶
	10/3 [土]	志野 白の茶陶
	2/6 [土]	織部 奇抜な茶陶
	3/6 [土]	唐津 九州の茶陶
陶磁鑑賞シリーズ XIII 「茶の湯の名碗② 高麗茶碗」 担当 = 五島美術館学芸部 菅沢そわか	9/12 [土]	雲鶴・狂言袴一象嵌の妙
	10/10 [土]	三島・刷毛目・粉引一白土の味わい
	1/9 [土]	井戸一堂々たる風格
古典籍鑑賞シリーズ X 「江戸時代の武士の文事」 担当 = 大東急記念文庫学芸部 長田和也	12/19 [土]	詩歌一本当の「江戸のこころ」
	1/16 [土]	戯作一拗ね者たちの手すさび
	2/20 [土]	日記一書き遺された日常
	3/20 [土]	考証一復古に託した夢
絵画鑑賞シリーズ XV 「屏風絵の鑑賞」 担当 = 五島美術館学芸部 下山來夏	1/23 [土]	理想の時空間一日月四季花鳥図屏風
	2/27 [土]	想像の風景一浜松図屏風
	3/27 [土]	実在の風景一洛中洛外図屏風

(3) ワークショップ

美の友会会員を対象として下記展覧会のワークショップを行う。

	開催日	テーマ
〔館蔵〕春の優品展 名品を彩るアンティーク・テキスタイル	4/19 [日]	「裂手鑑をつくろう」

(4) 陶芸講座

美の友会会員を対象として「粘土」から「茶碗」になるまでの技術指導を行う。

- ・第1回 = 2026年5月30日[土]・31日[日] 予定
- ・第2回 = 2026年9月26日[土]・27日[日] 予定
- ・第3回 = 2027年1月30日[土]・31日[日] 予定

(5) 茶の友会茶会

茶の友会会員を対象として茶会を開催し、茶会に使用する美術品について学芸部が解説す

る。

・第1回=2026年11月12日[木]—15日[日]の4日間

・第2回=2027年3月11日[木]—14日[日]の4日間

(6) 茶室特別公開

公開日=2026年6月3日[水]（「館蔵 陶芸展」期間中）

2027年2月4日[木]（「館蔵 茶道具取合せ展」期間中）

*入館者を対象に、通常非公開の茶室「古経楼」「富士見亭」を公開。

(7) 青少年向け普及講座

小学生や中学生を対象に、美術や日本文化への理解を深めるための各種普及講座を開設する。現在予定している講座としては以下の通り。

① こども美術講座「日本画を知ろう」（日程未定）

② 小・中学校向け出張講義（日程未定）

(8) 他館、近隣等との連携事業

① 展示内容の親和性が高い根津美術館、三井記念美術館との三館連携事業など他の美術館との連携事業

② 東急文化村「MY Bunkamura」「渋谷アート」など周辺文化施設等とのタイアップ

③ 多摩美術大学、東京都市大学等近隣の大学、高校との連携

④ 上野毛商和会(商店会)・町会との地域活性化活動

(9) 東急グループを通じての普及事業

東急グループを通じて普及事業を推進することにより、新たなファンを取り込み、さまざまな機会、楽しみ方を提供し、当美術館、文庫や収蔵品に対する理解を深めてもらう。

① 特別鑑賞会「東急グループ感謝のつどい」開催への協力

② 東急株式会社株主向けの鑑賞会・庭園散策・呈茶の実施

③ 東急グループ主催、後援の社会貢献活動（とうきゅうキッズプログラム等）への協力

④ 「東急ロイヤルクラブ」との連携イベントによる新規顧客開拓

⑤ 東急グループ向け「五島美術館名品集」カレンダーの制作・監修

(10) 五島慶太生誕地との連携事業

① 長野県小県郡青木村に設置された「五島慶太未来創造館」への展示協力

② 青木村議員団の視察受け入れと交流

③ 一般社団法人東急グループ慶太塾との連携

II. 公益目的事業 大東急記念文庫

1. 閲覧事業

(1) 図書閲覧

文学・歴史等の学術研究を行う大学生以上の学術研究者の閲覧について対応業務を行う(許可制)。

(2) 展示

五島美術館の展示に協力するとともに、他館からの出陳の要請は検討の上、貸し出す。

2. 調査・研究・保存事業

(1) 図書調査

- ① 収蔵の古典籍資料調査を行う。
- ② 事業に関連する他機関収蔵品の調査を行う。

(2) 図書収集

研究・閲覧に資する参考資料(辞典、叢書、全集、記録類等)や、必要な場合は古典籍資料を購入する。

(3) 研究発表

図書調査・研究活動等に基づき、書誌学、文化史学、国文学、美術史学等の研究の成果を機関誌「かがみ」その他、学術専門誌に発表する。

(4) 図書保存

- ① 文庫収蔵庫内の和古書と参考書誌、図書資料等との分離収納作業を継続する。
- ② 本年度も引き続き、収蔵資料の保存状態を調査し、修理・補修リストを作成する。
- ③ 収蔵庫内の防虫、防塵、防湿、防災には万全を期し、予防策として本年もIPM(総合的有害生物管理)を実施する。新収資料の防虫には特に留意する。
- ④ 不慮の災害に備え、資料の写真撮影などの副本作りを継続的に進める。本年度も『大般若波羅蜜多經』(鎌倉中期写本)等を撮影する。

(5) 図書修理

新収蔵資料の帙箱ちつばこの新装、未表装資料の修理・表装を行う。

(6) 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版

- ① 継続刊行中である「大東急記念文庫善本叢刊中古・中世篇」の第30回配本第17巻「美術」、第31回配本第18・19巻「古文書・名家筆蹟」の刊行準備をする。
- ② 機関誌「かがみ」第57号を編集刊行する。
- ③ 既刊の講演録、影印本等えいいんぼんを頒布する。

(7) 普及

- ① 各種団体(大学・研究会・図書館等)の要請による研究会、展示説明会等があれば、これに応じる。
- ② 文庫刊行の出版物等を友好機関に寄贈する。また、友好機関、個人から受贈した出版物等は、閲覧研究に供するとともに、整理して保存する。
- ③ 各種団体等・個人から多数の撮影、出版、放映、翻印等の許可申請があるため、厳しく検討した上で可否判断を行う。

(8) 国等各種公共機関・団体、大学への協力と職員の派遣

国や各種公共団体の研究会等への参加、助言、大学への職員の派遣等、文庫の事業運営上必要と認められる対外活動を行う。

収支予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7,841,000	6,198,000	1,643,000
基本財産受取利息	2,818,000	2,818,000	0
基本財産受取配当	5,023,000	3,380,000	1,643,000
特定資産運用益	2,093,000	1,410,000	683,000
特定資産受取利息	2,093,000	1,410,000	683,000
公益事業収益	112,466,000	124,728,000	△ 12,262,000
展示事業収益	52,725,000	57,435,000	△ 4,710,000
調査研究事業収益	8,107,000	14,917,000	△ 6,810,000
普及事業収益	15,940,000	15,966,000	△ 26,000
文庫事業収益	1,000,000	1,000,000	0
カレンダー収益	23,394,000	22,810,000	584,000
売店収益	11,300,000	12,600,000	△ 1,300,000
受取寄付金	289,968,000	249,038,000	40,930,000
受取寄付金	190,000,000	180,000,000	10,000,000
受取寄付金振替額	99,968,000	69,038,000	30,930,000
雑収益	20,010,000	20,001,000	9,000
受取利息	10,000	1,000	9,000
雑収益	20,000,000	20,000,000	0
経常収益計	432,378,000	401,375,000	31,003,000
(2) 経常費用			
事業費	388,565,000	358,974,000	29,591,000
役員報酬	7,200,000	7,225,000	△ 25,000
給料手当	91,910,000	83,673,000	8,237,000
臨時雇賃金	19,356,000	21,777,000	△ 2,421,000
退職給付費用	1,689,000	2,808,000	△ 1,119,000
福利厚生費	18,174,000	18,174,000	0
会議費	15,000	15,000	0
旅費交通費	2,020,000	440,000	1,580,000
交際費	200,000	200,000	0
通信運搬費	5,965,000	10,935,000	△ 4,970,000
減価償却費	68,853,000	68,853,000	0
クラウド利用料	600,000	270,000	330,000
消耗什器備品費	950,000	950,000	0
消耗品費	1,650,000	1,650,000	0
修繕費	7,400,000	7,400,000	0
修理費	4,000,000	3,000,000	1,000,000
印刷製本費	11,665,000	12,265,000	△ 600,000
宣伝広告費	6,200,000	7,800,000	△ 1,600,000
光熱水料費	11,500,000	10,955,000	545,000
保険料	556,000	556,000	0
諸謝金	240,000	150,000	90,000

科目	予算額	前年度予算額	増減
租税公課	7,800,000	7,800,000	0
庭園管理費	33,730,000	3,800,000	29,930,000
委託費	17,287,000	16,735,000	552,000
展覧会費	18,290,000	24,822,000	△ 6,532,000
催物費	13,370,000	10,760,000	2,610,000
調査研究費	8,920,000	14,900,000	△ 5,980,000
雑費	1,825,000	1,015,000	810,000
カレンダー制作費	19,000,000	12,546,000	6,454,000
ショップ原価	8,200,000	7,500,000	700,000
管理費	48,932,000	46,497,000	2,435,000
役員報酬	4,800,000	4,816,000	△ 16,000
給料手当	16,534,000	19,280,000	△ 2,746,000
臨時雇賃金	2,700,000	2,500,000	200,000
退職給付費用	188,000	312,000	△ 124,000
福利厚生費	3,948,000	3,948,000	0
会議費	400,000	400,000	0
旅費交通費	1,880,000	10,000	1,870,000
交際費	500,000	500,000	0
通信運搬費	945,000	924,000	21,000
減価償却費	3,501,000	3,501,000	0
クラウド利用料	5,820,000	5,000,000	820,000
消耗什器備品費	34,000	34,000	0
消耗品費	87,000	87,000	0
修繕費	100,000	100,000	0
印刷製本費	50,000	50,000	0
光熱水料費	645,000	645,000	0
諸謝金	6,410,000	4,000,000	2,410,000
雑費	390,000	390,000	0
経常費用計	437,497,000	405,471,000	32,026,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,119,000	△ 4,096,000	△ 1,023,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,119,000	△ 4,096,000	△ 1,023,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,119,000	△ 4,096,000	△ 1,023,000
一般正味財産期首残高	557,469,904	587,399,089	△ 29,929,185
一般正味財産期末残高	552,350,904	583,303,089	△ 30,952,185
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
一般正味財産への振替額	99,968,000	69,038,000	30,930,000
受取寄付金	99,968,000	69,038,000	30,930,000
当期指定正味財産増減額	△ 99,968,000	△ 69,038,000	△ 30,930,000
指定正味財産期首残高	3,759,605,877	3,747,647,505	11,958,372
指定正味財産期末残高	3,659,637,877	3,678,609,505	△ 18,971,628
III 正味財産期末残高	4,211,988,781	4,261,912,594	△ 49,923,813

収支予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7,841,000	6,198,000	1,643,000
特定資産運用益	2,093,000	1,410,000	683,000
公益事業収益	112,466,000	124,728,000	△ 12,262,000
受取寄付金	289,968,000	249,038,000	40,930,000
雑収益	20,010,000	20,001,000	9,000
経常収益計	432,378,000	401,375,000	31,003,000
(2) 経常費用			
事業費	388,565,000	358,974,000	29,591,000
管理費	48,932,000	46,497,000	2,435,000
経常費用計	437,497,000	405,471,000	32,026,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,119,000	△ 4,096,000	△ 1,023,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,119,000	△ 4,096,000	△ 1,023,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,119,000	△ 4,096,000	△ 1,023,000
一般正味財産期首残高	557,469,904	587,399,089	△ 29,929,185
一般正味財産期末残高	552,350,904	583,303,089	△ 30,952,185
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
一般正味財産への振替額	99,968,000	69,038,000	30,930,000
当期指定正味財産増減額	△ 99,968,000	△ 69,038,000	△ 30,930,000
指定正味財産期首残高	3,759,605,877	3,747,647,505	11,958,372
指定正味財産期末残高	3,659,637,877	3,678,609,505	△ 18,971,628
III 正味財産期末残高	4,211,988,781	4,261,912,594	△ 49,923,813

◆公益共通、法人関連(資金調達および設備投資などの見込み)

1. 資金調達

(1) 受取寄付金

文化・芸術の発信について東急株式会社から社会貢献活動の一環となる寄付金の受領を見込む。

・一般寄付金としての受け入れ 190,000 千円

(2) 協賛金

6企画の展覧会について協賛金を見込む。

・東急グループからの協賛金 20,000 千円

2. 設備投資などの見込み

(1) 一般正味財産にかかわる設備投資

サーバー更新 2,600 千円

茶会用茶碗 1,000 千円

簡易画像データベース 1,000 千円

正面駐車場ライン工事 840 千円

事務所プリンター更新 420 千円

作品調査用カメラ 200 千円

合計 6,060 千円

(2) 指定正味財産(施設修繕積立預金)にかかわる設備投資・修繕工事

蛍光灯LED化工事 10,230 千円

庭園整備作業一式(伐採、剪定、芝手入) 9,600 千円

本館雨水管改修工事 9,140 千円

庭園内下部水路整備工事 6,110 千円

別館2階厨房機器撤去工事 4,690 千円

別館事務所改修工事 6,000 千円

不老門修繕工事 5,870 千円

天祐庵門周辺整備作業 2,460 千円

会長室周辺整備作業 2,660 千円

庭園下部近隣対策工事① 1,730 千円

庭園下部近隣対策工事② 1,500 千円

富士見亭エアコン設置工事 3,630 千円

別館事務所エアコン設置工事 1,650 千円

合計 65,270 千円

以上